

事例集 ～地域内での話し合い～

人口減少や高齢化によって、地域行事や役員の負担感が増す中、地域住民が主体となってこれからの団体(組織)や行事のあり方、地域の将来像などについて真剣に「話し合う」場の創出をお手伝いするために、地域のニーズに合わせたまちづくりの専門家を派遣しています。

1.相談

2.講師選び

3.「話し合い」実施



- 1.まずは担当課へご相談ください。
地域の課題や目指す姿などをお伺いしたうえで、適任と思われる講師を担当課で探します。

1.相談

2.講師選び

3.「話し合い」実施



- 2.担当課から講師を提案したのち、講師を交えて「話し合い」の実施に向けて打ち合わせを行います。
打ち合わせにより、実施回数や内容などを決めていきます。

1.相談

2.講師選び

3.「話し合い」実施



- 3.開催日までに、地域側で会場の確保や必要な物品の準備と、地域内への周知をお願いします。
プロジェクターなどの機器が必要な場合は貸し出しも可能です。

これまでに行った事例については、
P.22～23で紹介しています。

問い合わせ先

政策企画課 協働統計係

電話：0848-38-9435

事例集 ～地域内での話し合い～

～向東町での例～

令和4年度までの取組

話し合いの目的

向東町では昔に比べて賑わいや買い物場所が少なくなった…などの課題がある。地域内の各組織を中心に、今後のまちの姿について話し合い、取組を進めることで「住んでよかった」と思える向東町をめざす。



高齢者の交通手段(免許返納問題)を考えるグループ

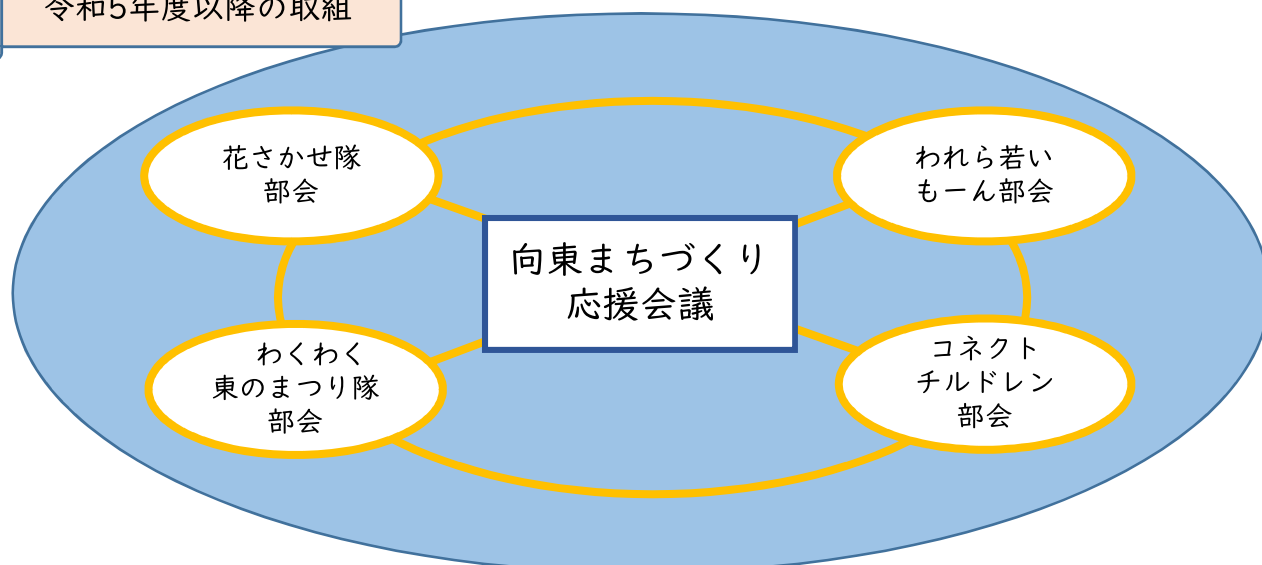
尾道警察署・JAの協力を得て向東中学校で開催した交通安全教室



～これまでの活動の振り返り～

- ・ 買い物場所
- ・ 耕作放棄地、空き家
- ・ 高齢者の居場所
- ・ 向東の魅力発信
- ・ 高齢者の交通手段
- ・ 子どもの遊び場

令和5年度以降の取組



各部会で地域の課題解決に取り組み、向東まちづくり応援会議で成果の報告や、協力依頼、提案など情報共有。

秋には“みんなで作るみんなのおまつり”をコンセプトにフリーマーケット、運動会等の催しを中心とした「向東まるごとフェスタ」を実施。地域の活性化につながる活動となっている。

～浦崎町での例～

令和4年度の取組

話し合いの目的

高齢化率が高く人口が減少する中で、地域内の役員や行事の見直しを図ることで、今後も地域が持続可能なものとなるよう組織のスリム化、次世代の人材発掘を目指す。



地域にある「頑張り・努力について話し合っています」。



話し合った内容は、発表してみんなで共有します。

令和5年度の取組

令和4年度に実施した「地域づくり座談会」から1年が経過する中で、現在までの浦崎町の取組の報告会を開催。

地域の課題解決に向けて各団体が取り組んだ内容を発表し、グループワークを実施。

人口減少への対応
(住吉神社・体協・地区社協)

組織の体制や役員選出、行事のありかたの見直しなど各組織が持つ課題についての取組みを発表。

高齢化社会への対応
(高齢社会をよくする女性の会)

高齢者に移動支援や買い物支援等を行う「ちょこっと応援サービス」をスタート。活動の経緯やスタートまでの取組み等を発表。

令和6年度の取組

組織のスリム化

- ・住吉神社総代数を1/2に削減して運営を実施
- ・浦崎地区社会福祉協議会が4部会の廃止を決定

急速な人口減少と高齢化の現実を町内に
ある各種団体が真正面に受け止め、組織、
行事内容の改革を進める。

防災・地域づくり

防災を考える座談会や、「支え合い・
助けあい」のネットワーク構築に向けて
学び、話し合う場として「浦崎地区小地
域ネットワークセミナー」を開催。

高齢者など住民が地域で安心安全
に暮らせる社会の実現に向けての
具体的な取り組みの実践。